

中学生

税についての作文集



平成22年11月15日

発行 熊谷税務署
熊谷税務署管内
納税貯蓄組合連合会

受賞者一覧

- 関東信越国税局長賞**
寄居町立寄居中学校 三年 中村 光瑠さん
- 関東信越国税局管内 納税貯蓄組合連合会会長賞**
熊谷市立玉井中学校 一年 上野 真優さん
深谷市立上柴中学校 二年 向井 薫彦さん
熊谷市立三尻中学校 三年 指物 敬吾さん
- 埼玉県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞**
熊谷市立小島中学校 三年 小林 知夏さん
深谷市立豊里中学校 三年 須佐 柚美さん
深谷市立上柴中学校 三年 大野 真実さん
深谷市立深谷中学校 三年 卜部 龍さん
深谷市立幡羅中学校 三年 坂本 千夏さん
熊谷市立熊谷東中学校 三年 山内 真さん
熊谷市立大里中学校 三年 山崎 梨央さん
- 埼玉県租税教育推進協議会長賞**
深谷市立花園中学校 三年 江口 可奈さん
- 熊谷税務署長賞**
熊谷市立大麻生中学校 三年 宮前 佳那さん
熊谷市立荒川中学校 三年 高橋 紗也香さん
- 熊谷税務署管内 納税貯蓄組合連合会会長賞**
熊谷市立大原中学校 二年 内野 裕貴さん
熊谷市立立藤沢中学校 二年 田中 由香さん
○**埼玉県熊谷県税事務所長賞**
寄居町立寄居中学校 三年 新井 美貴さん
- 関東信越税理士会 熊谷支部 支部長賞**
深谷市立南中学校 三年 中嶋 大希さん
- 熊谷市長賞**
熊谷市立大原中学校 一年 原 拓也さん
- 深谷市長賞**
深谷市立南中学校 三年 高岡 美帆さん
- 寄居町長賞**
寄居町立男衾中学校 二年 河合 広大さん
- 熊谷市教育委員会教育長賞**
熊谷市立妻沼東中学校 三年 中澤 仁さん
- 深谷市教育委員会教育長賞**
深谷市立岡部中学校 二年 渡邊 綾子さん
- 寄居町教育委員会教育長賞**
寄居町立城南中学校 二年 深澤 陽さん
- 国税モニター会長賞**
熊谷市立妻沼西中学校 三年 古藤 蒼さん
- 熊谷市立吉岡中学校 二年 増田 宏人さん**
深谷市立岡部中学校 二年 鶴田 達也さん
- 熊谷税務署管内 納税貯蓄組合連合会 優秀賞**
深谷市立明戸中学校 一年 小林 蓮さん
熊谷市立大麻生中学校 三年 宮木 玲奈さん
深谷市立幡羅中学校 三年 伊東 有莉亜さん
熊谷市立妻沼東中学校 三年 中里 ちひろさん
熊谷市立大幡中学校 三年 嶋崎 菜緒さん
熊谷市立大麻生中学校 三年 長谷部 有香さん
熊谷市立奈良良中学校 二年 松島 萌さん
熊谷市立大原中学校 一年 山田 恵莉さん
熊谷市立熊谷東中学校 三年 大澤 聖加さん
- 熊谷税務署管内 納税貯蓄組合連合会 佳作**
熊谷市立熊谷東中学校 三年 石田 智也さん
熊谷市立玉井中学校 二年 長谷川 侑璃さん
熊谷市立中条中学校 二年 岡部 めぐみさん
熊谷市立別府中学校 二年 里見 直樹さん
熊谷市立三尻中学校 三年 五十嵐 祐子さん
熊谷市立富士見中学校 三年 丹内 香里さん
熊谷市立江南中学校 三年 大久保 まやさん
熊谷市立上柴中学校 二年 関口 聡子さん
深谷市立南中学校 一年 松本 ちひろさん
深谷市立川本中学校 三年 吉村 凜平さん
寄居町立城南中学校 一年 落合 千紘さん

関東信越国税局長賞

祖母の死から見たこと

私の祖母は、昨年一月、くも膜下出血で亡くなりました。祖母は、糖尿病を患い、足も悪かったので、いつも日中は家の中で一人で過ごし、学校や仕事から帰宅する家族を待ちながら日々、生活をしていました。「その日もいつものと違って朝でした。「行つてきます」と言つて「うん、行つておいで」これが祖母と交わした最後の言葉、最後に見た顔でした。祖母は、母が帰宅するとトイレで倒れていて、もう意識はありませんでした。母は二九番にすぐに連絡し、救急車を呼びました。しかし救急車を初めて呼ぶのと、倒れている祖母をどうすればいいのか気が動転し夢中だったそうです。その時、電話に出て対応して下

さつた消防署のオペレーターの方は「住所と氏名を教えてください。もう救急車は出発しましたよ。安心して下さい。」そこで母は本当に安心して心がひとまず落ち着いてきたそうです。その後、救急車が到着し、祖母を担架に移そうとしましたが、体の大きかった祖母は救急隊員だけでは、消防車の消防隊員も来て下さり五人がかりで担架に移し救急車に乗せたそうです。しかし、たぐさんの人のお手をお借りした甲斐もなく病院でその晩、息を引き取りました。

私は今回の事で救急車の重要性、必要性がとてよくわかりました。今、救急車を安易に呼び出し使用する人がいることが問題になっています。急を要さないのに病院を見つけないで料金を支払わなければならない救急車なら無料といった利点。もし、その間にも、一分一秒を競う急患がいたら、それが自分、もしくは家族だったら、それが自分、もしくは家族だったら、そして救急車を一回動かせると約四万五千円の税金がかかる試算されているそうです。日本では一年間に四六七万回、救急車が出動し、その内の半数が軽症だそうです。この半数の人が使用を控えれば税金が半額におさえられ、急患にも充分に対応できると思います。税金を納めているのだから当たり前の考えは止めて謙虚な気持ちを持ちたいものです。生前、祖母に救急車に乗ってみたいと話したことがあります。すると「ばかだね。乗りたくないなんて人はいないよ。乗らなりました事はないんだから」と言っていました。本当にその通りです。祖母は自分で救急車に乗った事もわからないまま亡くなったのですから。

私は大人になって働くようになったら、しっかりと税金を納めたいです。今この瞬間に困っている人の為、そして未来の自分の為です。税金を納める事によって安心して生活できる日本のこの制度は大変素晴らしいと思います。この制度が永遠に続くために守つ

ていくルールがあると思います。私は、これからもその事をしつかり考えて日々の生活を送りたいと思います。

関東信越国税局管内
納税貯蓄組合連合会会長賞

助け合い、平等な社会を築くために

熊谷市立玉井中学校
一年 上野 真優

私が、幼稚園の時、六才のころでした。習い事に通っていて、その日も楽しみに行きました。その時はまだ、これから大変なことが自分におそいかかってくるなんて思いもしなかったことでしょう。帰りの車の中のことです。足がとでもかゆくなり、さわつてみるとポコツとはれていたので、蚊にさされたのだと思いこんでいました。家に入りよくみると、両足に青紫色のポコツとはれているものが、何ヶ所もできていました。私とお母さんはびつくりしてあわてて、夜間でもやっている小さな小児科病院に行きました。すると、

「全然平気ですよ。明日も幼稚園に行つて大丈夫です。」と言われたので少し安心して家に帰り、次の日も幼稚園に行きました。足に違和感をいだきながらも毎日と同じように過ごしました。帰って家にいたときです。足がパンパンにはれてしまい、歩くのもいなくなつてしまいました。それから深谷市の日赤病院に行くと、「しん病」という血液の病気だと診断されました。この病気は国で難病と指定されているので入院、治療費などは全て税金で支払われ、治療費。手術はしませんでしたが、3ヶ月入院し、薬を毎日飲み、点滴も1ヶ月半から2ヶ月位したと思います。多分、そういうな費用がかかったのではないのでしょうか。だから、税金を払はらって、私を助けてくださった方々には本当に感謝しています。

他に税金が使われている物といえ、私達中学生が使っている教科書や道路をつくる費用など、さまざまな物に使われています。みんなを使う公共の物や施設などに役に立つ物に使われたいと思います。役に立たない無駄な物や無駄遣いされていたらどう思いますか。私はとてもいやです。最近、テレビで税金のことについてやっていたのを見た方もたくさんいると思います。事業仕分けなどの新聞の記事をよく目にしました。事業仕分けをやつてくださるのほども助かります。税金で助かる人がたくさんいるので無駄な事に使っている税金が一円もなくなればいいなと思いました。私は、みなさんの税金で助けられたので、私も税金を払はらつてたくさんの人を助けられたいと思います。税金は平等な社会を築くためになくはならない物です。もし、税金がなくなつたら、公共の物などの経費が賄えなくなつてしまいます。だからとても重要な物だと思いました。これからも、税金を大切にしていってほしいです。

税金が社会を支える

深谷市立上柴中学校
二年 向井 薫彦

中学生のほくにとつて一番身近に感じられる税金といえば、スーパーやコンビニやスポーツ店などで買い物時に支払う消費税です。

消費税は職業や年齢に関係なく買う人が支払わなければならない。現在は5%の税ですが、今後は少し税率が高くなる可能性もあります。しかし、海外ではもっと消費税の高い国もあるそうです。そして、消費税の高い国は、医療費や老後の生活などが安心した社会になっているのと同じですが、ぼくは、税金のすばらしい使い方だなあと思いました。昨年インフルエンザが日本中で大流行しました。学校でも学級閉鎖や学年閉鎖になってしまふほどでした。ぼくは予防接種を受けていました。

ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんは無料でインフルエンザの予防接種を受けられたそうです。二人に聞くと、深谷市では六十五才以上の人は無料で接種できる制度になっているとのことでした。これも大事な税金の使われ方なのだと知りました。

この夏休みの宿題に自分の赤ちゃんの頃についてのレポートの課題がありました。ぼくは、初めて母子手帳というのを見ました。そして手帳には、交付の記載や出生までの育ち具合、出生時のことや予防接種の記録など詳しく書かれていました。お母さんに無料の予防接種のことも聞きました。ぼく達は生まれる前から子供医療などの福祉制度を受けていたのだなあと思いました。

今までは特別に考えたこともない税金についていろいろと調べていくと、税金の使われ方や大切さを知ることが出来ます。税金とは無関係と思つていたぼくは、教育費に支えられて中学校に通い、整備されたアスファルトの道を自転車で行き、本を借りるために図書館を利用し、スポーツをするために競技場やテニスコート、体育館など公共施設を目的に合わせて使える生活をしていきます。税金が支えているのだと初めて知りました。そして、みんなが使えるからみんなで払う税金を支える。そう考えると税金を支払うという納税ということの価値に気づき、納税が義務づけられている理由もわかり、税金に感謝の気持ちさえ感じます。

税金に感謝 ～社会に恩返しを～

熊谷市立三尻中学校
三年 指物 敬吾

「税金があるから生活できているんだよ」

衝撃的な母の一言だった。ぼくは、憲法の一つに納税の義務がある事は知っているが、今まで税について深く考えた事は無かった。身近なところでの消費税についても上がらなければいけないのと思うくらいだった。そんなぼくに、母の言葉は考えさせられるものがあった。

先日の夕飯時に、税について母に聞いてみると、ぼくの知らなかった驚くような話をしてくれた。それは、ぼく達の生活は税金のおかげで快適に暮らす事ができているという内容だった。興味を持ったぼくは、夕飯を食べるのも忘れて、食い入るように耳をかたむけた。我が家は、母子家庭だが毎日がとても楽しい。母は福祉関係の仕事をして、ぼくを育ててくれている。そして働いてもらう給料から所得税や保険料などを払つていてそれは当たり前前の事だと母は言う。初めは、どうして働いたお金なのに給料から税金が引かれてしまうのか不思議に思った。しかし、話を聞いていくうちにだんだんわかってきた。その税金などが我が家のような家庭や高齢者障害者を持った人々も安心して生活できるようになくなくとって活かされることを知った。特に、これからの社会は、少子高齢となり、社会保障の充実をはかるためには、大きな費用が必要となる。その財源の中心となるのが税金であり、納税が最も重要であることがわかった。母は一生懸命に働き、納税もしているが、毎年必要な申請書を出して税金のおかげで補助を受けたり、利用させてもらっている制度があることも話してくれた。母は、本当にありがたいことだと感謝していた。

ことがある。今思うと許せないニュースであり、怒りさえ込み上げてくる。一部の間違つた大人の考えで貴重な税金が使われてしまい、とても残念に思った。今までは、小中学校の九年間は義務教育であり、当たり前のように教科書などももらい何も考えずに学校に通つていた。それから学校の運営も税金で成り立っており、納税しなくても多くの大人に感謝しなけれいけないと感じた。今年から公立高校でも合格すれば無償で学べるようになった。受験を控えた今、税金のありがたみを改めて感じている。そして、ぼくが成人し、仕事を持つようになったら、しっかりと納税をして、社会へ恩返しが出来ると立派な大人になつていこうと考えている。

埼玉県租税教育推進
協議会 長賞

私の考える税と地域社会

深谷市立花園中学校
三年 江口 可奈

「えっ、これはひどいよ。」早く消した方がいいよ。中学二年の冬、私の学年では机や椅子への落書きがしばしば問題になっていた。小学生の頃から「皆さんが使っている机や椅子は、税金で買われています。公共の物なので、大切に使いましょう。」と言われてきた。それを思うと、「落書き」という行為に、私はいい気分がしなかつた。

税金といえは、これまでそれ程深く考えたことはなかつた。買い物すれば五パーセントの消費税を支払う。これも当たり前だと思つてきた。でも、私たちが納めた税や働いている父や母が納める税金が学校の机や椅子を買つたために使われている、と考えると、もっと他にも身近に税金が使われていることに気づいた。例えば、道路。小学生の頃、通学路に歩道がない道があった。道路の脇に大きな堀があり毎日「危ないね。気をつけてね。」

大里地区租税教育推進協議会 会長賞

10%の選択

深谷市立藤沢中学校

三年 田中 由香

「税」という言葉から、私達は何を思い浮かべるだろうか。無論私位の年齢でそれほど深く知っている人は少ないのではないだろうか。しかし、周囲の大人達がそれほど深く知っているわけでもなさそう。

今年の参議院議員選挙では、民主、自民両党とも消費税に関する公約を出し、結果的に自民が大多数で勝利をおさめ、いわゆる「ねじれ国会」が生まれたわけだがここで一つ疑問点が生じることになる。それは一人一人が消費税に関してどこまで知っていたか、ということである。

私の両親(含め周囲の大人)は、消費税や税に関して、口をたがめていないが、結果論として「使い道がわからない」とか、「国民から金をとってどうする」とかというところで、彼等の考えを根本的に言えば、本質が見えない上に、それに関する知識が浅いのである。もちろん私もそのうちの一人に入る。第一、消費税などというものは、10%にするほど急ぐものではないと内心批判している位だ。

—今のデフレ不況は主に日本がとて残されているという状態で、そこまであせって引き上げしても、国民の首を政治家がしめていようなものではないか—つい最近まで私が考えていたことだ。しかし、考え方を一転すれば上手くいくこともあるのだと、フジテレビのニュース番組の特集から考えるようになった。それは、海外での消費税のふり分け方だ。具体的にいえば日用品の中で税金が変わっている、ということなのだ。例えば、日常的に消費される、洗剤やトイレトペーパーには税金がかからず、逆にスナック菓子やジュースなどのいわゆる副食等には、しっかりと税が含まれている。税率が低い国ほど不景気だとはよ

く言ったのだが、海外のように高い税金(8%~20%)でもふり分け一つで国民の納得の仕方も変わってくるのだ。大きくいってしまえば、海外に目を向けることも必要、というべきだろう。

最後に、税の使い道について、だが、消費税5%の日本国は、海外に比べおそらく低いであろう税金で、国の整備を行っている。それは身近な所であれ、学校設立や、道路整備などに使用されているのだから、絶対的に税金は必要なのである。それが私達学生にとっても「善」にはたらくことなのだから。

今、消費税を10%にすることで何がかわるか、それはとても多種多様ですが、少なくとも年配者のための施設や、教育施設など、身の周りの大切な人達に関わる、重要なお金なのですから、10%にすることも、我々国民にとっては一つの利益なのではないでしょうか。

そして10%にすることはこの不況国日本の成長する力にもなりません。今一度一人一人が税について見直し、考えていく必要性があると私は思います。

埼玉県熊谷県 寄居町立寄居中学校 三年 新井 美貴

税金について

「あつ、何あれ?」 私が朝友達と登校する途中、学校の近くにある駅の公衆トイレに赤いスプレーでくがきされているのを見つけた。そのトイレはつい最近工事が行われ新しくきれいになったばかりでした。

工事される前までは汚く少しすず暗くて不気味だったので友達と一緒にいって入りたいと、とうてい思えるようなトイレではありませんでした。そんなトイレだったからこそ新しいトイレができたのに対して良かったという気持ちがあり、だから余計

にらくがきされたことに腹が立ちました。そして家に帰ってお母さんにそのことを話すと、「そのトイレって私たちが払っている税金でつくられたのよ。」とお母さんは言い、続けて「それに今、美貴が使っている教科書も学校にあるチョークも税金のおかげだつていないか?」と教えてもらいさらにそのことについてがこみあげました。

それから数日が経ち自分の教科書を開いたときでした。すると自分の教科書にもらくがきがあるのを見つけました。それは以前に書いたものでした。そして、ふと数日前に言われた言葉が頭をよぎりました。すると、なんだか急に自分が恥ずかしくなってきました。町のみんなが払ってくれた税金のおかげで使える教科書なのに大切にしないなんて数日前のトイレのらくがきと同じではないか。と思ってしまう気がしていつぱいになりました。

すぐに消しゴムで教科書のらくがきを消してこれからはちゃんと税金を払ってくれている人のためにも自分のためにも物を大切にしようと思えました。そして、今では私の教科書はらくがきは一つもなくなってきたいになっています。

このことは自分でも良い勉強になったと思います。また、税金の使われ方を知ることができて税金を使わせてもらう立場としても、大切に使用しなければいけないし、消費税などで税金を払う立場としてもしっかりと払って、お年寄りや幼児など税金を必要としている人たちが必要としている場所に大事に使ってほしいと思いました。

そして私たちが安全で楽しく生活するために税というのは必要だと感じます。

関東信越税理士会 熊谷支部 支部長賞

五パーセント?十パーセント?

深谷市立南中学校

三年 中嶋 大希

7月11日の参議院議員選挙の時に菅直人総理大臣が消費税を五パーセントから十パーセントにしたいと言っていました。それを聞いた時はあまりいい感じはしませんでした。なぜならそれはいきなり二倍というのになつてくがいかないからです。いままで二万円で五百円だった消費税が千円になつてしまいます。その差の五百円で買える物がいくつもあります。たとえば、二リットルのペットボトルが三本も買えます。ほかには百円マックが五個、百円ショップでは五個の商品が買えます。

もともと税金はどのような形で使われているか知る事がなかなかできません。橋や道路や公園、港湾の建設や維持管理に税金が使われていると言われています。しかし目の前の五百円が橋の一部になったり、道路の一部になつていと言われてもあまり実感がわきません。目の前で五百円がペットボトルに変わったり、百円マック五個に変わったりするのは、違うからです。

しかし橋や道路などに使われるだけでなく教育や福祉にも使われていると言われています。僕たちが学校で勉強できるのも税金のおかげです。このように考えますと税金はなくてはならないと思います。

教科書や机、椅子、チョーク、トイレトペーパー、黒板など数え上げればきりがありません。そのくらい身のまわりには僕の五百円が姿を変えているのです。

さらに福祉の面では病気になつたり、ケガをして病院にかかったりした時にも税金が使われています。高齢者の介護などにも使われています。税金はこのように身近なところにも多く使われていることを考えると

なくてはならないものだと思います。みんなが税金を払うのを嫌がって消費税を納める事をしなかったらたいへんなことになつてしまふかもしれない。道路が作られなくなつたり橋がこわれたままになつたりしたら生活がしづらくなつてしまいます。さらに僕たちは学校で勉強ができなくなつてしまいます。それはとても悲しい事です。消費税が五パーセントから十パーセントになつても、それが大切に使用されるのであれば、消費税を納めなくてはならないと思います。

編集後記

本年も、熊谷税務署管内の各中学校の諸先生方をはじめ、納税貯蓄組合の会員各位、更には、熊谷税務署のご支援を賜り、中学生の皆さんから4,899作品という多数の応募をいただくことができました。あらためて心より感謝申し上げます。

本来であれば、税について一生懸命書き上げていただいた入賞者全員の作品を掲載したいところではございますが、紙面の都合上、受賞された方の一部の作品しか載せることができなかつたことをご容赦いただければと思います。

この作文集が、中学生をはじめ、多くの方々に読んでいただき、税についての理解を深めてもらい、関心を持ってもらうことを期待しております。

熊谷税務署管内納税貯蓄組合連合会 電話 〇四八―五二―四六〇〇